

## 「会員総会」特集

「梅雨明け」のニュースも流れ、夏本番が近づいて参りました。会員の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

さて、5月19日には会員総会が開催され、昨年度実績と、今年度の活動方針の報告が行われました。本号では、総会報告の骨子をお届けすることといたしました。ビレジサポートへのご理解を深めていただければ幸いです。

### ビレジサポート 会員ニュース

第6号  
2014.6.30

発行：  
NPO法人 ビレジサポート

会員数 1??人  
(内賛助会員 2?人)

2014年5月末現在

ご相談ください！！

助け合い活動部には、最近こんなご依頼もあります。

- ・ 仏事相談
- ・ 親の介護で家を空けている間の庭木の水遣り
- ・ ゴミ当番でネット運搬中に転びそうになり、ゴミ当番を依頼
- ・ 急な海外赴任で、草取りやポストチェックを依頼

どんなことでもご相談下さい。誠意をもって対応いたします。

### ■ 2013 年度の活動実績

- 1、ビレジサポート(平成24年11月に任意団体で発足)は、平成25年10月にNPO(特定非営利活動法人)としての認定を受けました。
- 2、年度末の会員数は、177名となりました。
- 3、平成25年度の活動状況
  - (1) 助け合い活動は、4サービスの展開でスタートしましたが、よろず相談受付のスタンスに変更下結果、多様なリクエストが出現しています。実施件数120件、協力者延人数192人、事業収入249千円の実績となりました。又、協力者懇談会の定期的な開催も継続しています。
  - (2) 環境保全活動(剪定サービス)は、庭木の剪定を中心に展開、最近自治会館周辺、周辺地域からも依頼が来ています。実績は実施件数46件、協力者延人数235人、事業収入998千円となりました。又、利用者への満足度調査も実施いたしました。
  - (3) 受託事業は、歩行速度測定、遊歩道管理、買物困難調査検討の3事業を受託、多くの協力者を得て実施されています。
  - (4) 世代間交流を目指し、6月にふれあいイベント、12月には柏ビレジファミリークリスマスを開催いたしました。
  - (5) 毎月の広報紙の発行に加え、会員ニュースの発行開始、及びホームページ開設により、積極的な広報を展開しています。

### ■ 2013 年度 活動計算書 (2013.10.25 ~ 2014.3.31)

単位：千円

|           |       |
|-----------|-------|
| 受取会費      | 5     |
| 受取寄付金     | 576 ① |
| 事業収入      | 2,092 |
| (内訳)      |       |
| 助け合い事業    | 67    |
| 剪定サービス事業  | 418   |
| 受託事業      | 1,607 |
| その他収入     | 159 ② |
| 収入合計      | 2,832 |
| 事業費計      | 1,397 |
| (内訳)      |       |
| 人件費(雑給)   | 934   |
| 経費(消耗品等)  | 463   |
| 管理費計      | 234   |
| (内訳)      |       |
| 人件費       | 0     |
| 経費        | 234   |
| 事務用品      | 121   |
| 通信費       | 34    |
| 保険料       | 44    |
| その他       | 35    |
| 費用合計      | 1,631 |
| 正味財産増減額   | 1,201 |
| 事務所開設積立   | 1,150 |
| 次期繰越正味財産額 | 51    |

①の内572は、任意団体VSからの移管分  
②はこぶらった支援分

任意団体およびNPO法人VSの1年間の活動状況は、助け合い活動、及び剪定サービス共に平成25年度の当初想定を大幅に上回り、収支も活動参加の方々のボランティア的な費用対応のお陰で、各々赤字になることなく活動を推進することが出来ました。

受託事業は東京大学(こぶらった)からの利益率の高い受託事業の紹介により、好調な結果となりました。支出面は、東京大学(こぶらった)からの事務用品、消耗品等の支援、また、F会員のご好意により事務所経費負担が無かったことで好結果になりました。

事務所開設を前提とした収支状況を検討しますと、年間約60万円弱の不足が生じます。この為、3年程度の余力資金を積み立てた上で具体化を図りたく、特定資産として事務所開設積立を今期正味財産増額から充当しています。

## ■ 2014年度の活動方針

### 1、基本方針

- (1) 助け合い活動を地道に積み上げ、ビレジサポートの活動についての住民理解を深める。
- (2) 会員相互の交流、親睦を図り、参加意識の向上を図る。
- (3) 会の安定化、継続化の基礎作りのため受託事業を発掘する。

### 2、具体的な施策

- (1) 助け合い活動部は、利用件数及び収益増加を目指し、広報等による事例紹介の強化、口コミでのPR、新規ニーズ発掘に努める。又、きめ細かなサービスの実現のため、利用者、協力者、及び運営スタッフの意思疎通の円滑化を目指す。
- (2) 剪定サービス部は、事業拡大のため、リピーター顧客対応と新規顧客の開拓に注力する。安定した事業の継続のため、メンバー増強を図ると共に、剪定技術の向上を図り、作業効率向上を促進し、選定事業の体制確率を目指す。
- (3) 事業・開発部は、遊歩道管理、緑道管理、及び「街の健康ステーション」管理の既受注案件の確実な履行を行うと共に、新規受託事業の開拓のため、大槌町の地域特産品の販売の実証実験、空き店舗を活用した新たな事業の模索、キャンパスエリアのコミュニティ活動進展を意識しての東京大学、三井不動産との連携強化等を積極的に進める。
- (4) 広報部は、広報紙・会員ニュースの発行、地域イベントの継続的開催、HP活用などで、住民向け情報発信に注力する。
- (5) 総務・経理部は、会員相互のコミュニケーションの向上、ビレジサポートの安定的運営のための施策、手続きを担う。

## ■ 2014年度予算

単位：千円

|            |       |
|------------|-------|
| 受取会費       | 200   |
| 受取助成金      | 250   |
| 事業収入       | 3,116 |
| (内訳)       |       |
| 助け合い事業     | 343   |
| 剪定サービス事業   | 960   |
| 健康促進実証実験事業 | 375   |
| 受託事業       | 1,438 |
| 収入合計       | 3,566 |
| 事業費計       | 2,546 |
| (内訳)       |       |
| 給料手当       | 254   |
| 雑給(車代)     | 1,688 |
| 経費(消耗品等)   | 604   |
| 管理費計       | 493   |
| (内訳)       |       |
| 人件費        | 0     |
| 経費         | 493   |
| 事務用品       | 120   |
| 通信費        | 94    |
| 保険料        | 44    |
| その他        | 115   |
| 予備費        | 120   |
| 費用合計       | 3,039 |
| 正味財産増減額    | 527   |
| 事務所開設積立    | 520   |
| 当期正味財産増減額  | 7     |
| 前期繰越正味財産額  | 51    |
| 次期繰越正味財産額  | 58    |

- ①の内訳：自治会50、柏市200  
 ②運営スタッフへの活動費用(1千円/月)の支給分

## ■ 2014年度新体制（理事長：濱崎 達彦 副理事長：林 忠男）

